

基本情報



【年齢】
38歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
神奈川県横浜市
【前職】
会社員
【活動時期】
R4.5～

協力隊に応募したきっかけ

プロモーションや地方創生の仕事を経験し、「クライアントの魅力をどのように掘り起こすか」という視点を学びました。また、縁あって岡山県に移住する理由があり、相談会で真庭市の先輩地域おこし協力隊の方と話をし、「人」への魅力を感じたことが決断のきっかけとなりました。「何をするかより、誰とするか」という視点で仕事選びをしたいと考えていた中で、真庭市であれば「面白い人」に沢山出会えるのでは、と思ったからです。

今後の抱負・任期後の目標

現在は、真庭市の「人」や「地域」の魅力を掘り起こし、ウェブ媒体を中心に情報発信を行っています。また、企画者としても、行政を中心に地域活動に伴走し、運営や進行面でのお手伝いをしています。自分事として当事者意識を持ち、同じ目線で考え、膝を突き合わせて一緒に行動していくスタンスが大事だと考えており、任期後も、真庭市のひとりの生活者としての意識を持って課題に向き合うライター・企画者として活動するつもりです。

活動内容

●真庭市の魅力発信プロジェクト

ライターとして、真庭市の魅力を掘り起こし、市内、県内、県外問わず「こんなに素敵な魅力があるんだ」という情報を発信しています。真庭市交流定住センターが運営するオウンドメディアで記事を執筆したり、都心部が読者層である地域特化型メディアに記事を掲載するなど、様々な媒体を通じて真庭市の魅力を届ける（触れてもらう）よう活動しています。



地元の日常的な暮らしや、人との会話や交流を、観光資源として届けたい。人の魅力にフォーカスした観光パンフレットとは

●地域図書館と連携した地域資源の掘り起こし

真庭市立図書館（中央図書館）の“図書館みらい計画「地域資源の再評価と新たな価値の創出」事業”として、真庭市の小学校・中学校を中心とした「校歌」を採集するプロジェクトの事務局運営に携わっています。まだ、立ち上げて間もないですが、今後は市内に住む人を中心に校歌の情報を集めることで、世代を超えた話題作りをしたいと考え活動しています。



●観光文化発信拠点施設のSNS運用アドバイザー

真庭市の新たなシンボルとして期待される観光文化発信拠点施設の「GREENable HIRUZEN」のSNS運用アドバイザーとして、ライターの知識（文章の作り方、表現の仕方）などを施設のスタッフの方に伝える講座を実施しました。SNS運用全般、写真撮影といったスキルに特化した他のアドバイザーとともにチームで連携し継続的に支援する活動をしています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Facebook) <https://www.facebook.com/u.sakai.shoei/>